

2024.10.3-4 リハビリテーション・ケア合同研究大会 山梨 2024
全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 主催者団体シンポジウム

診療報酬改定によって推奨されている病院の地域貢献活動のあり方

住民と行政と専門職で「シビックプライド」向上を考える

地域をリハビリテーションする

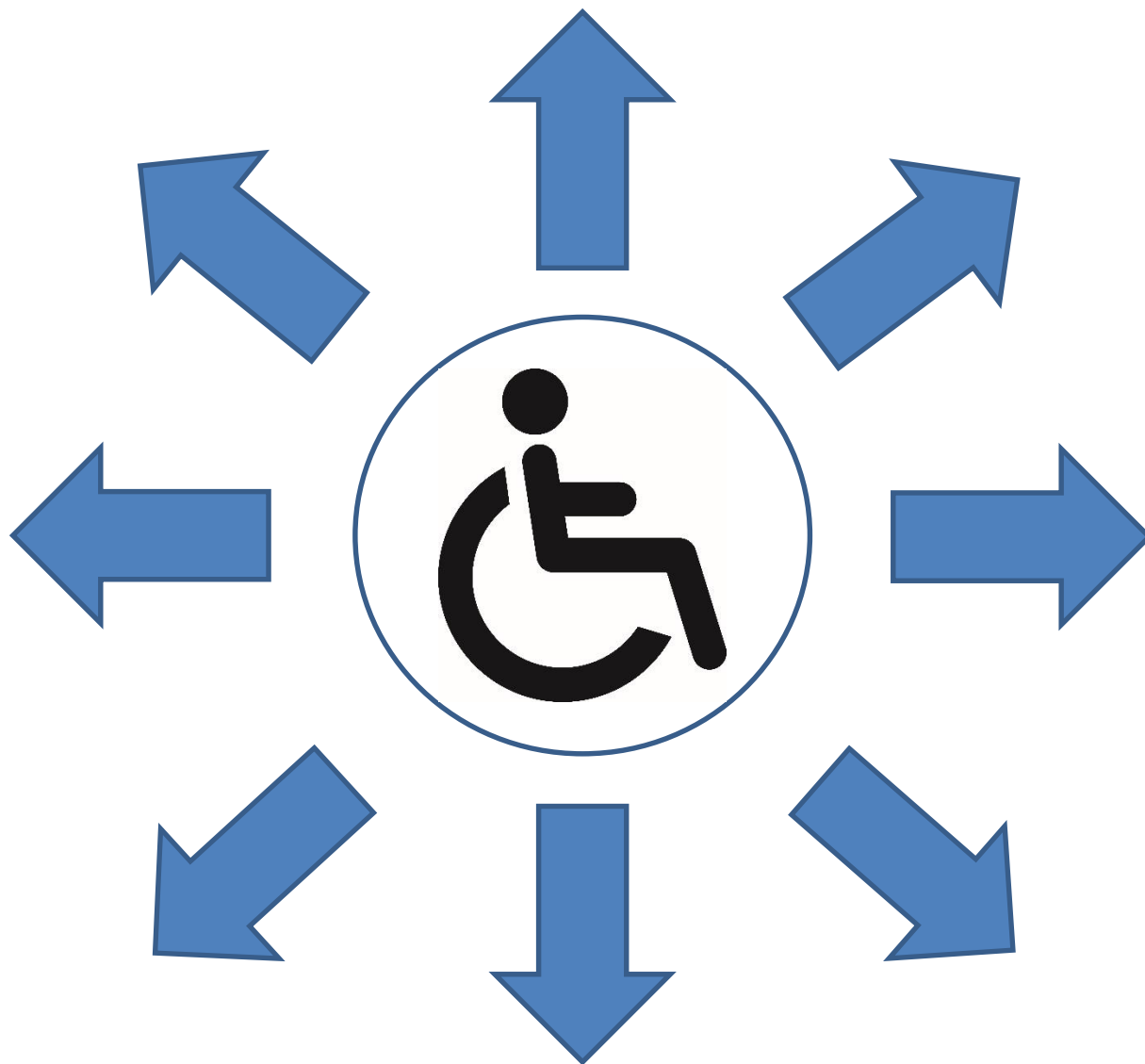


AWAJI
SUMOTO



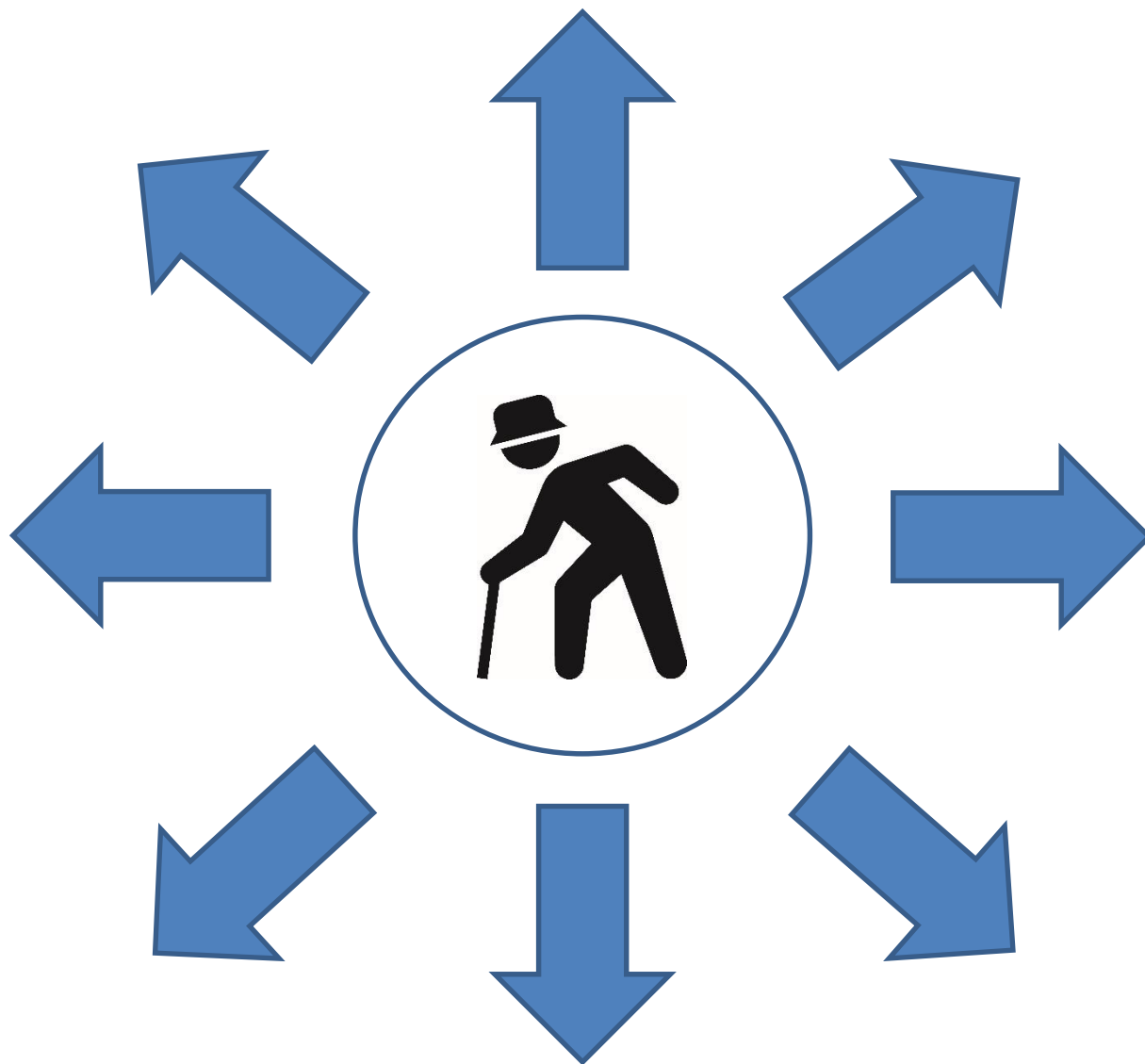
洲本市役所
理学療法士
生活支援
コーディネーター
畑山 浩志

住み慣れた地域、馴染みの環境の中で切れ目のないサポートを受けられ



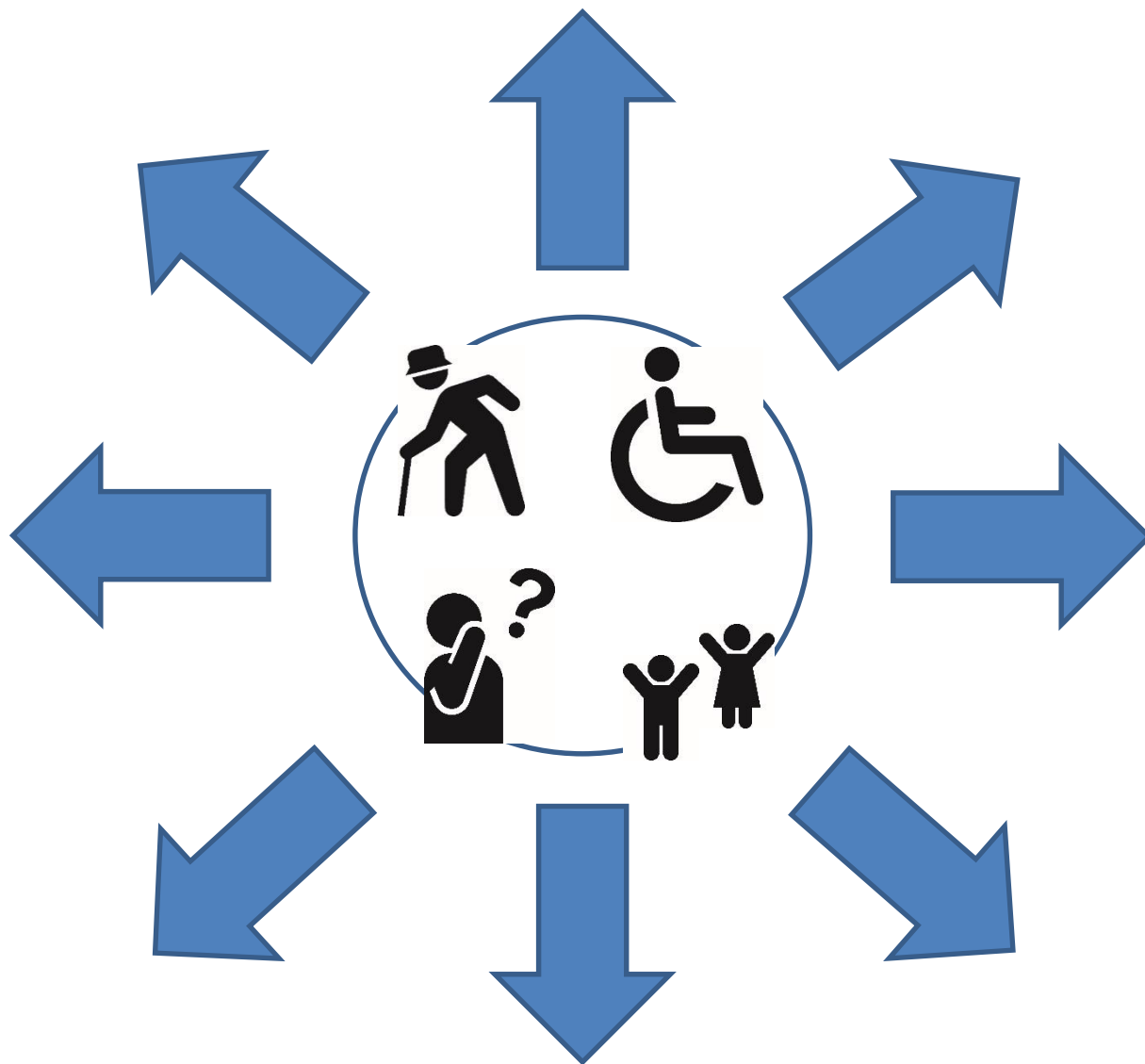
本人の選択によりやりたいことに挑戦し、安心して暮らせる環境をつくる

住み慣れた地域、馴染みの環境の中で切れ目のないサポートを受けられ



本人の選択によりやりたいことに挑戦し、安心して暮らせる環境をつくる

住み慣れた地域、馴染みの環境の中で切れ目のないサポートを受けられ



本人の選択によりやりたいことに挑戦し、安心して暮らせる環境をつくる

「したい」「やりたい」ことのカタチ

個人で「やりたい」「したい」こと



仲間で「やりたい」「したい」こと



地域で「やりたい」「したい」こと

地域づくりのカタチ

行政の課題提起

人がいない
多様化しすぎ

- ① 担当者が2～3年で変わる → 事業が伝承されていない
- ② 事業をやることが目的 → 振り返り、評価や改善が苦手
- ③ ヨコのつながりがない → タテわりになっている
- ④ 分野・年代で部署が変わる → 制度の壁
- ⑤ 庁内連携がない → 地域共生社会の担当部署がない
- ⑥ 業務が多すぎる → いくつも仕事を掛け持ち
- ⑦ アンケート調査が多い → いろんなところから調査
- ⑧ 記録が多い → 記録だけでも時間がかかる
- ⑨ 予算がない → 新規事業をつくるのも大変
- ⑩ 専門職がいない → 専門的なことがわからない

課題提起

みんなで考える

- ① 医療と介護は連携できているのか？ 要介護認定の申請を行うことはどういったことなのか？
- ② 住民は認知症のことをどう理解しているのか？ 認知症の方が安心して暮らせる町であるのか？
- ③ 病院でのリハビリテーション終了後、地域で運動を継続する場はあるのか？
継続して運動が必要な方は、そこに繋がっているのか？
- ④ 住民はフレイルについてどう理解しているのか？フレイルを理解するとどうなるのか？
- ⑤ だらだらリハ、いつまでもリハになっていないか？そうならないためにはどうすればいいのか？
- ⑥ 地域支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業を理解して事業に参加しているのか？
教えてくれるのを待っていないか？
- ⑦ 事業は伝承しているのか？担当者が変わったら後退していないか？
- ⑧ そもそも、地域を理解しているのか？ 地域貢献活動の「地域」はどの範囲なのか？
- ⑨ シビックプライドとは何か？ どうやればシビックプライドが向上するのか？

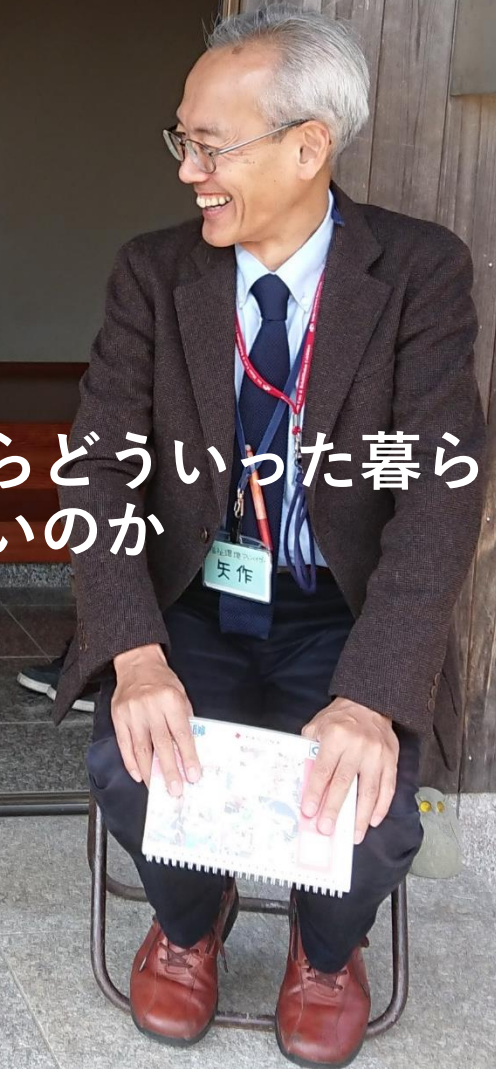
対話と傾聴

住民の声をしっかり聴く

今までどういった暮らしをしてきたか



これからどういった暮らしをしたいのか



介護保険サービスが本当に必要なのか

2022
年度

認知症
総合支援事業

生活支援体制整備事業

認知症になってもGENKIすもっと協議会

洲本警察署 淡路広域消防事務組合 洲本消防署
セコム暮らしのパートナー 兵庫県社会福祉事業団くとうみの里
ウェルシアホールディングス 朝日生命保険総合会社(洲本営業所) 第一生命保険(株)
兵庫ダイハツ販売(株)ダイハツ淡路店 もりがき薬局
生活協同組合コープこうべ 共同購入センター淡路
淡路信用金庫 淡路圏域地域リハビリテーション支援センター 大塚製薬(株)
(株)マイマート 洲本市商店連合会 洲本ガス株式会社



介護予防・日常生活支援総合事業

一般介護予防事業

住民主体の通いの場

2010年～ いきいき百歳体操(83グループで実施)

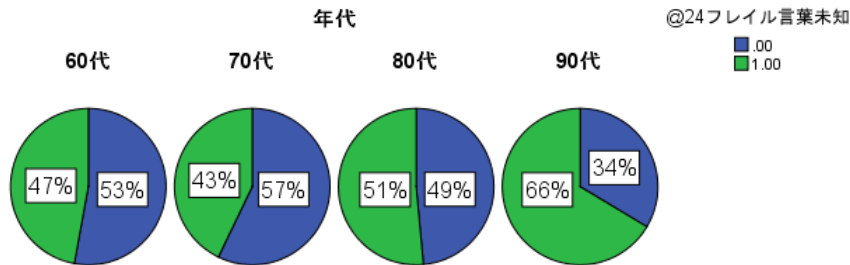
かみかみ・しゃきしゃき百歳体操

理学療法士・健康運動指導士など

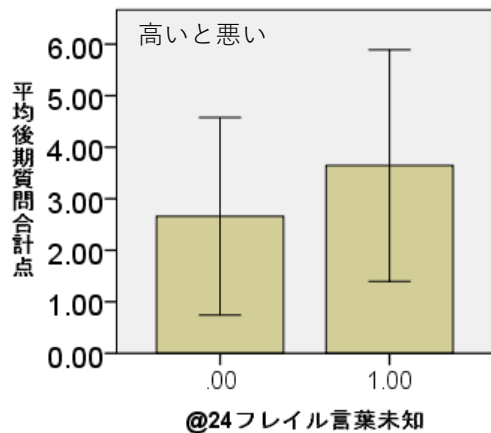
見守り、趣味活動、移動スーパー、茶話会、食事会など
多様な主体、多様な活動、コミュニティ



フレイルの認知度 (言葉)

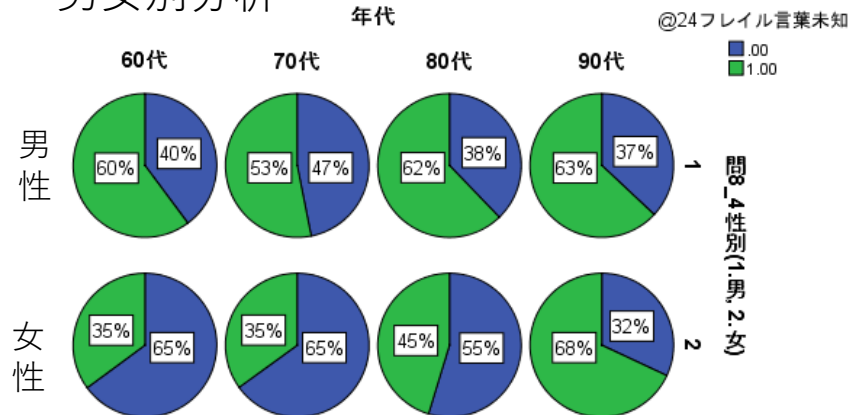


高齢ほど「フレイル」を知らない *



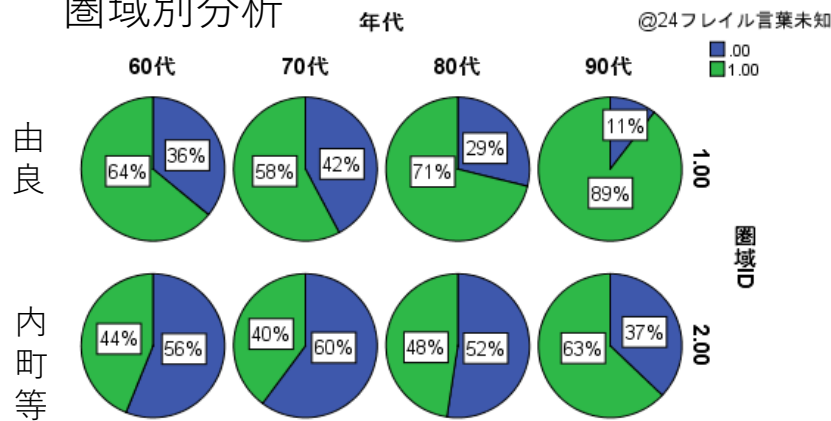
「フレイル」を知らない人ほど
後期高齢者質問票の悪化スコアが高く、フレイルに該当
(オッズ比2倍) *
年齢で調整してもこの関係は残存 (男女差なし)

男女別分析



男性のフレイルの認知度が顕著に低い*
女性は高齢ほど認知度が低い *

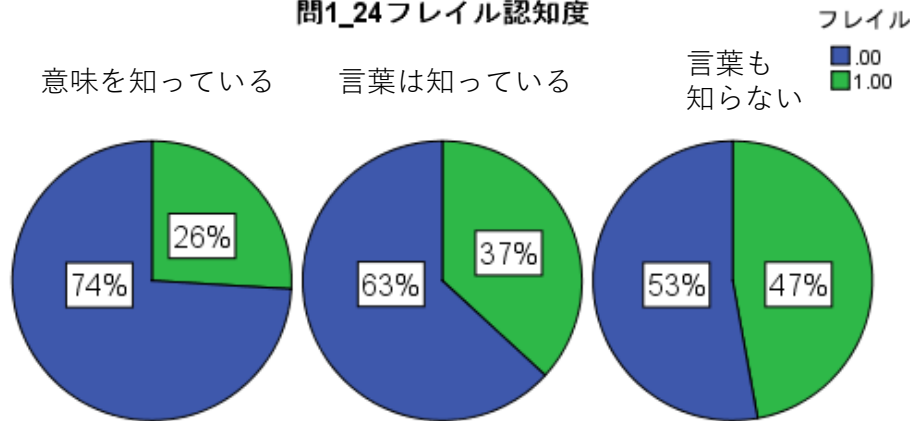
圏域別分析



由良地区は全年代でフレイルの認知が低い *

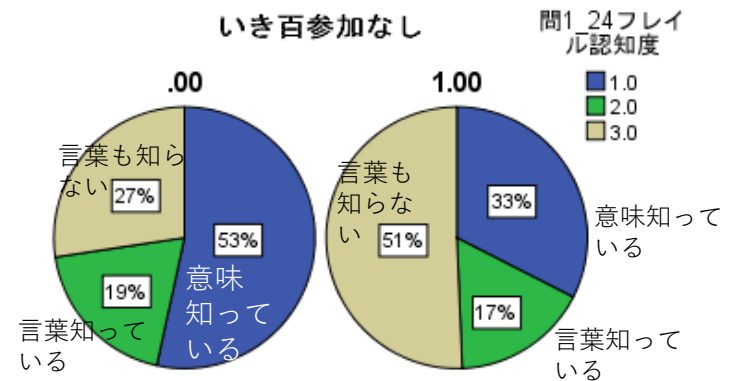
フレイルの認知度 (意味も含めた場合)

問1_24フレイル認知度



フレイルの意味まで知っているとはフレイル少ない

いき百参加なし



いき百の参加者はフレイル認知度が高い

フレイルの認知とフレイル発症の関係

| | B | 標準誤差 | Wald | 自由度 | 有意確率 | Exp(B) | EXP(B) の 95% 信頼区間 | |
|---------------------|--------|------|---------|-----|------|--------|-------------------|-------|
| | | | | | | | 下限 | 上限 |
| ステップ 1 ^a | | | | | | | | |
| 問8_4性別(1. 男, 2. 女) | .047 | .098 | .226 | 1 | .635 | 1.048 | .864 | 1.270 |
| 年齢 | .060 | .007 | 83.000 | 1 | .000 | 1.061 | 1.048 | 1.075 |
| 問1_ 意味を知っている | | | 63.933 | 2 | .000 | | | |
| 問1_ 言葉は知っている | .457 | .139 | 10.736 | 1 | .001 | 1.579 | 1.202 | 2.076 |
| 問1_ 言葉も知らない | .877 | .110 | 63.418 | 1 | .000 | 2.405 | 1.938 | 2.984 |
| 定数 | -5.743 | .525 | 119.781 | 1 | .000 | .003 | | |

a. ステップ 1: 投入された変数 問8_4性別(1. 男, 2. 女), 年齢, 問1_24フレイル認知度

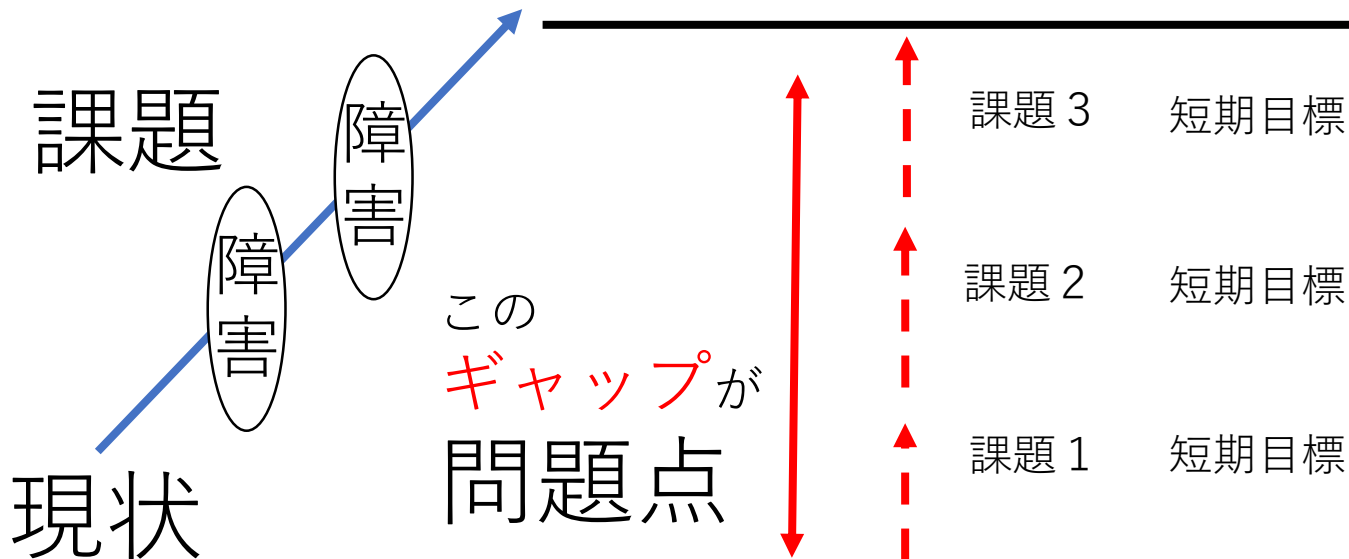
意味を知らない (言葉知っている) とフレイル発症のオッズ比1.5倍、言葉も知らないとオッズ比2.4倍
ロジスティック回帰分析 (年齢、性別で調整)



目標・問題点・課題

- どのような状態にするべきか（目標）
- それが出来ていないことで何が困っているのか？（問題点）
- 障害となっているものは何か？（課題）

長期目標（ありたい姿）

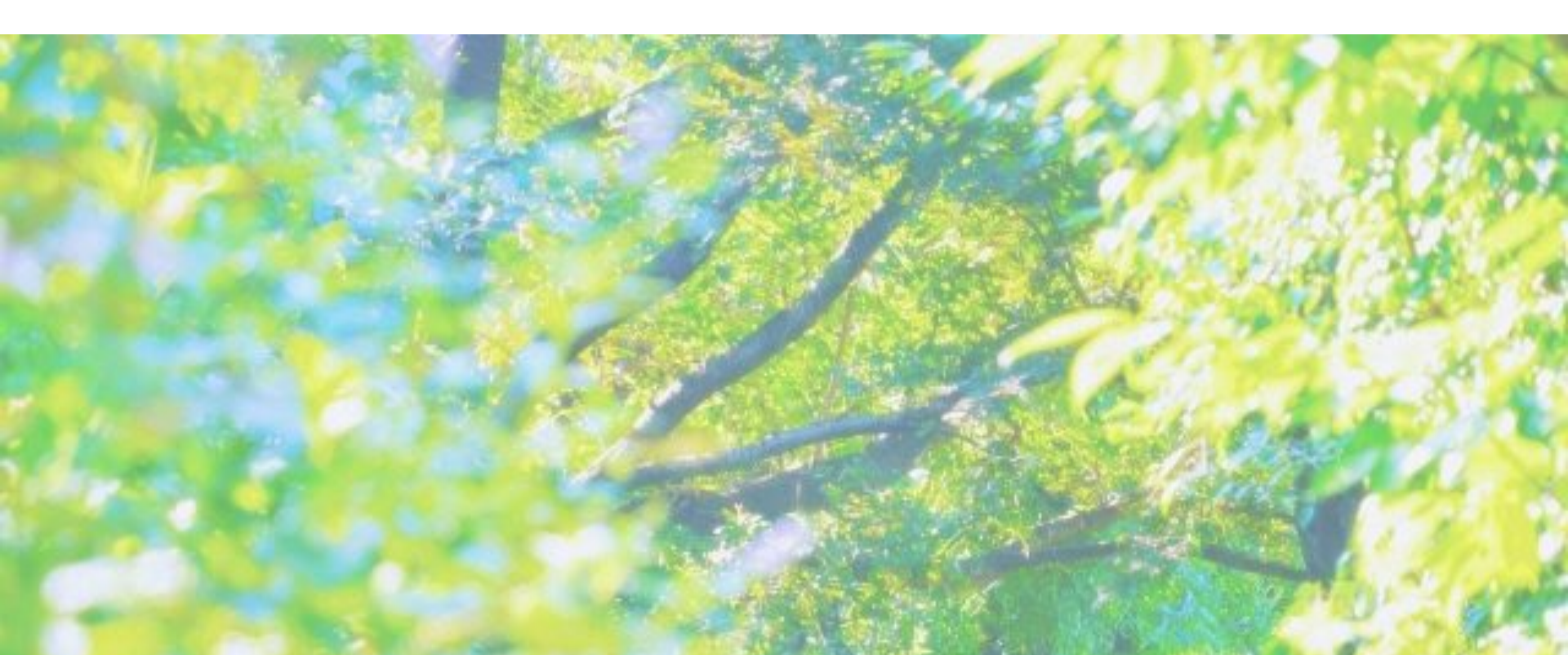


バックキャストイング

未来が起点
中長期的な計画を立てる
革新的なアイデアが欲しい

フォアキャストイング

現時点が起点
短期的な目標や堅実な改善
現状の課題に気づきやすい



一般介護予防事業 (地域リハビリテーション活動支援事業)

令和4年度 地域づくり加速化事業 (全国研修)

所属 洲本市健康福祉部 介護福祉課 長寿支援係
理学療法士・生活支援コーディネーター
氏名 畑山 浩志

地域共生社会

高齢者

生活困窮者

障害児・者

子ども

地域包括ケアシステム

地域支援事業

地域支援事業は、被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを**予防**し、**社会に参加**しつつ、地域において**自立**した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とし、地域における包括的な相談及び支援体制、**多様な主体**の参画による日常生活の支援体制、**在宅医療と介護**の連携体制及び**認知症**高齢者への支援体制の構築等を**一体的に推進**するものである。

予防

自立

在宅
医療介護

一体的に
推進

社会参加

多様な
主体

認知症

介護予防・日常生活支援総合事業

生活支援体制整備事業

認知症総合支援事業

在宅医療・介護連携推進事業

地域ケア会議推進事業

高齢者がいつまでも元気で洲本市で生きがいを持って活躍しながら住み続けることを目指す
「GENKIすもっとプロジェクト」

介護福祉課 長寿支援係
地域支援事業

健康寿命の延伸と健康格差の縮小 ～ともに支え合い人にやさしい地域社会の実現～

要支援等高齢者

一般等高齢者

いつまでも
元気で
洲本市に
住み続けましょう



認知症総合支援事業

在宅医療
介護連携
推進事業

地域
ケア
会議

生活支援
体制整備
事業

介護予防・日常生活
支援総合事業

地域
ケア
会議

協議
体

推進
会議

医療・
介護連
携部会

リハビリ
専門職
部会

ケアサポ
メント
支援会議

洲本庁舎部会
五色庁舎部会

自立支援型
個別会議

(第1層)
地域づくり
協議体

(第2層)
地域づくり
協議体

通所
事業所
連絡会

就労
支援
検討会

地域課題
地域診断

高齢者の生活と心身状態の実態把握調査
→GENKIすもっとフレイル・オーラルフレイル早期発見・早期対応事業
→口腔保健に関する予防強化推進モデル事業に係る調査研究事業（オーラルフレイル）
→ICTを活用した修正自立に係る調査研究事業
→在宅における高齢者自身によるフレイル予防促進に関する調査研究事業
→健康で安心して暮らせるまちづくりアンケート調査（悉皆調査）
→日常生活圏域別高齢者悉皆調査

介護予防
ケアマネ
ジメント

生活課題の抽出とアセスメント
目標設定・モニタリングと評価
→ケアサポメント支援会議 →洲本・五色庁舎部会
→自立支援型地域ケア個別会議 →「ミドリカ」検討会

短期集中
サービス

期間限定の生活行為障害の課題解決型
→GENKIすもっとトライ教室
→専門職による個別相談

継続実施
サービス

継続参加で重度化防止
再発予防、健康管理
→リハビリ教室

地域づくり
による介護予防

容易に通える範囲の通いの場での社会参加
住民主体の体操等による状態の維持
→町内会、老人クラブ、スポーツ、趣味、ボランティア、就労
→いきいき百歳体操、ミニデイ、ふれあいサロン・給食サービス、など

元気な高齢者の増加

→GENKIすもっと体操 →GENKIすもっとサポーター
→元気はつらつ教室 →認知症サポーター

GENKIすもっとプロジェクト

在宅医療・介護連携

→フレイル・オーラルフレイル、認知症、転倒→骨折
→すもっとワーク、多職種連携研修、フレイルチェック
→通いの場、フットケア、熱中症、感染症、用具・改修
→ｽｽｽ・ｽﾏｰﾄﾞﾜｰｸｼｯﾌﾟ健康管理、薬剤管理、医療介護相談
→心不全、誤嚥性肺炎、骨粗鬆症、高血圧、糖尿病

認知症総合支援

→認知症になってもGENKIすもっと協議会
→認知症予防健診、認知症啓発、初期集中支援チーム
→オレンジカフェ・チーム、認知症ミニデイ
→認知症サポーター、キャラバンメイト

生活支援体制整備

→直営にてSC配置、SCチーム会議
→就労的活動支援CN、就労支援検討会
→軽度生活援助、配食サービス、外出支援
→健康安全運転講座 →出前講座
→交通、防犯、防火、防災
→デジタル活用支援推進事業
→スマホ講座 →オンラインの通いの場

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

スマホ・スマートウオッチの活用

自助互助
生活支援
活躍参加

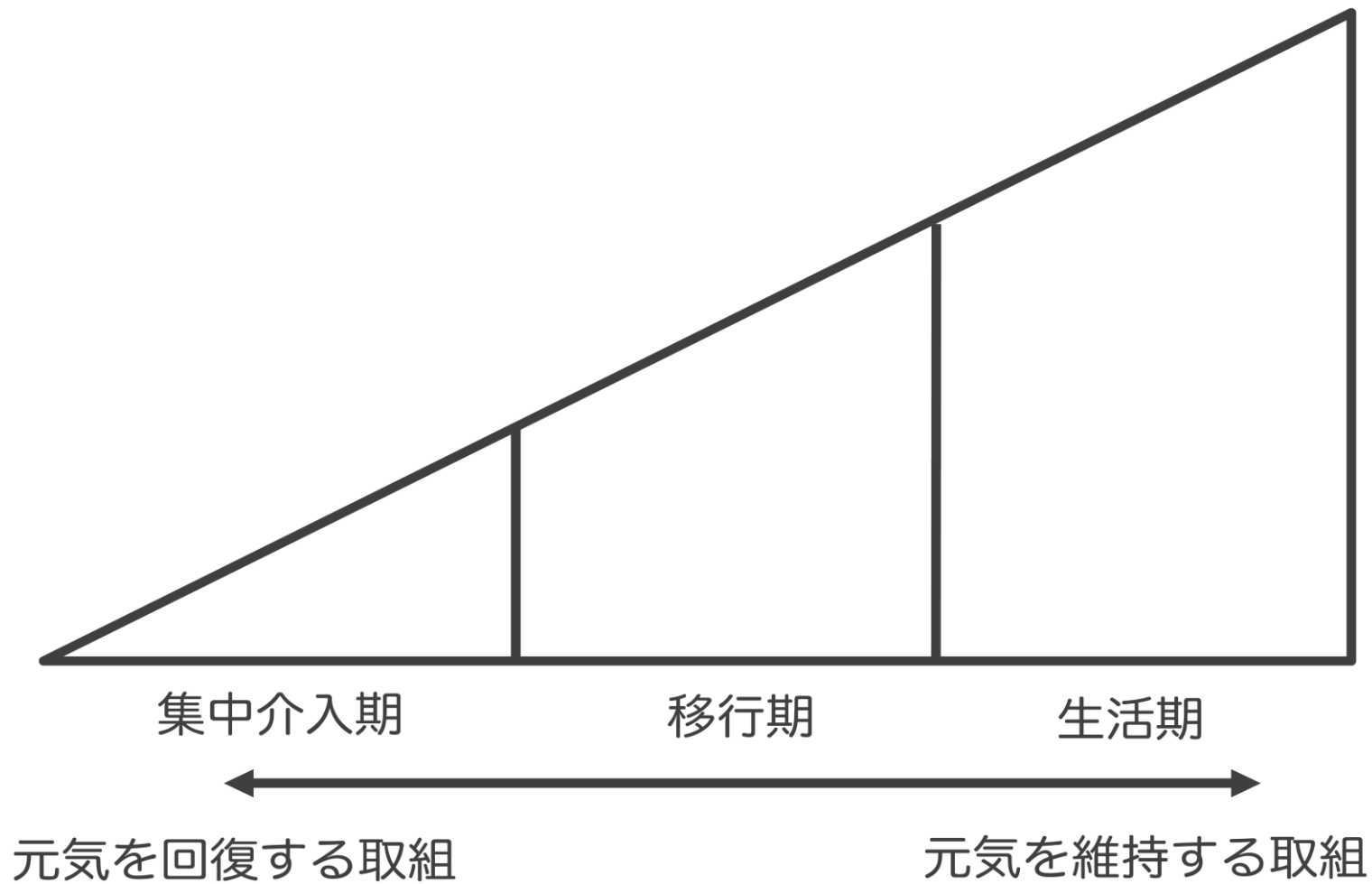
高齢者就労・ボランティア

都市感と田舎
感が調和した
「トカイナカ」な
“まち”



“総合事業の三角形”

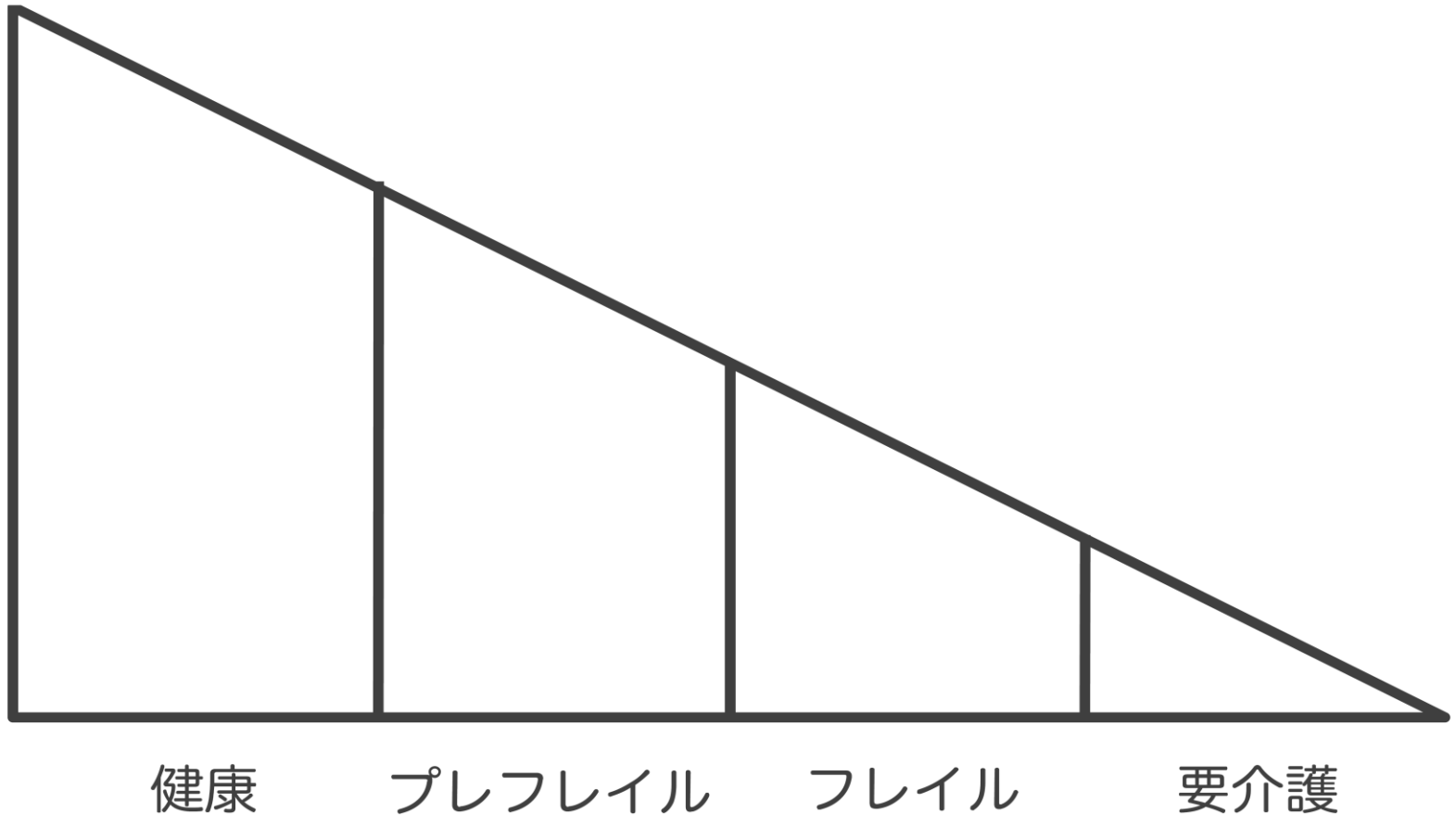
総合事業のデザインや
事業内容の過不足を考えてみよう



出典：地域づくり支援ハンドブックvol.1 159ページ [令和4年度老人保健健康増進等事業 都道府県による市町村支援に活用するための支援パッケージ策定に係る調査研究より]

“高齢者の三角形”

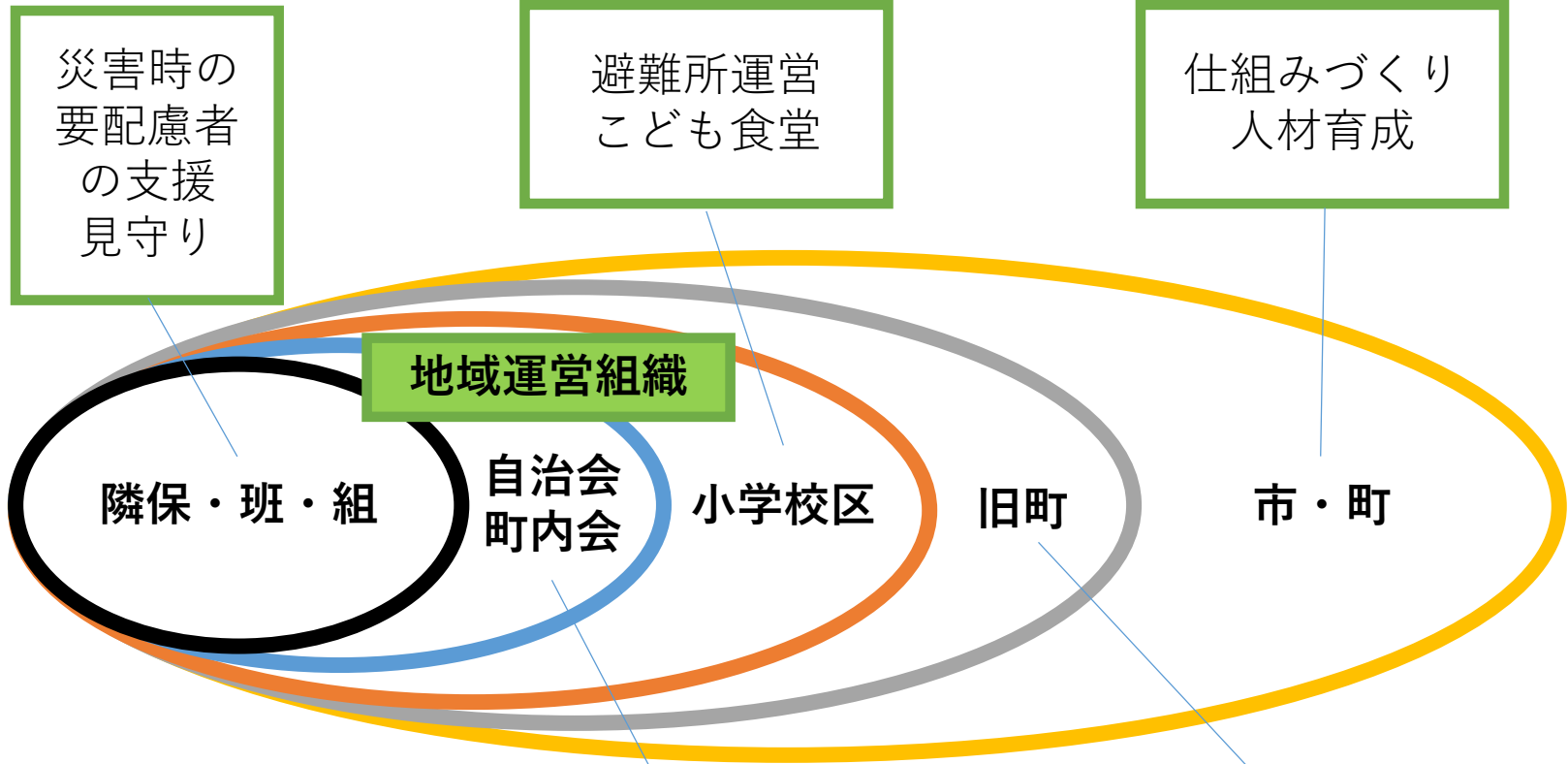
わが街にある高齢者向け事業やサービス
全体の過不足を考えてみよう



出典：地域づくり支援ハンドブックvol.1 160ページ [令和4年度老人保健健康増進等事業 都道府県による市町村支援に活用するための支援パッケージ策定に係る調査研究より]

皆さんがいう「地域」とは？

圏域によって
取り組むべき
課題は違う



災害時の
要配慮者
の支援
見守り

避難所運営
こども食堂

仕組みづくり
人材育成

相互に補完し合う
関係性
(補完性の法則)

高齢者の居場所づくり
サロン・通いの場

地域における
生涯学習・社会教育の推進

シビックプライド (Civic Pride)

地域や自治体に対する住民の誇りや愛着
地域社会に貢献する意識を指す言葉

自分自身が地域の構成員であると自覚し
地域をより良い場所にしていこう

地元愛や郷土愛と似た言葉ですが
少しニュアンスが異なる

シビックプライドを育むことで
地域社会の活性化や魅力の向上
住民の協力を促進する効果が期待できる

住民の地域に対する愛情・誇りを高めることで
他地域への移住や転出を減少させる効果も期待できる

市町の役割は指揮者 地域づくりのビジョンと戦略を伝える



大学

市町の担当者



指揮者



関係
機関



住民
高齢者
演奏者
(主役)



企業

専門職



プロの演奏者

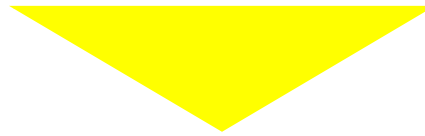


庁内
部署

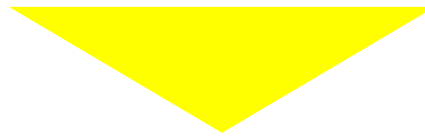
専門職はプロの演奏家 アドバイスと評価

住民の主体性を育む5つに役割

住民の主体性を育むためには
行政ならび専門職が



- 場をつくるプロデューサー
- 想いを引き出すファシリテーター
- 人と人、人と活動などをつなぐコーディネーター
- いろいろな選択肢を提案できるコンシェルジュ
- ともに考え、ともに歩みを進めるパートナー



仕掛人であり、伝道師であり、まとめ役であり、提案家であり、伴歩者である



また、何かございましたらご連絡ください
洲本市役所 介護福祉課 長寿支援係

hiroshi_hatayama@city.sumoto.lg.jp

農民車

昭和30年代半ばに島内の鉄工所で試作された木台の荷車の前部に2輪をつけて、その上に農業用発動機を乗せ、Vベルトを通じてシャフトで後輪に動力を伝える。

「地域農業の革新」 たまねぎ

- ・軽トラックではタイヤが小さくぬかるんでいるところは走れない
- ・小型で小回り利く
- ・小型でパワーがある
- ・オーダーメイドカスタム

地域づくり

誰もがいつまでも暮らせる

地域を

時代の変化とともに
住民・行政・民間が協力して

つくる